

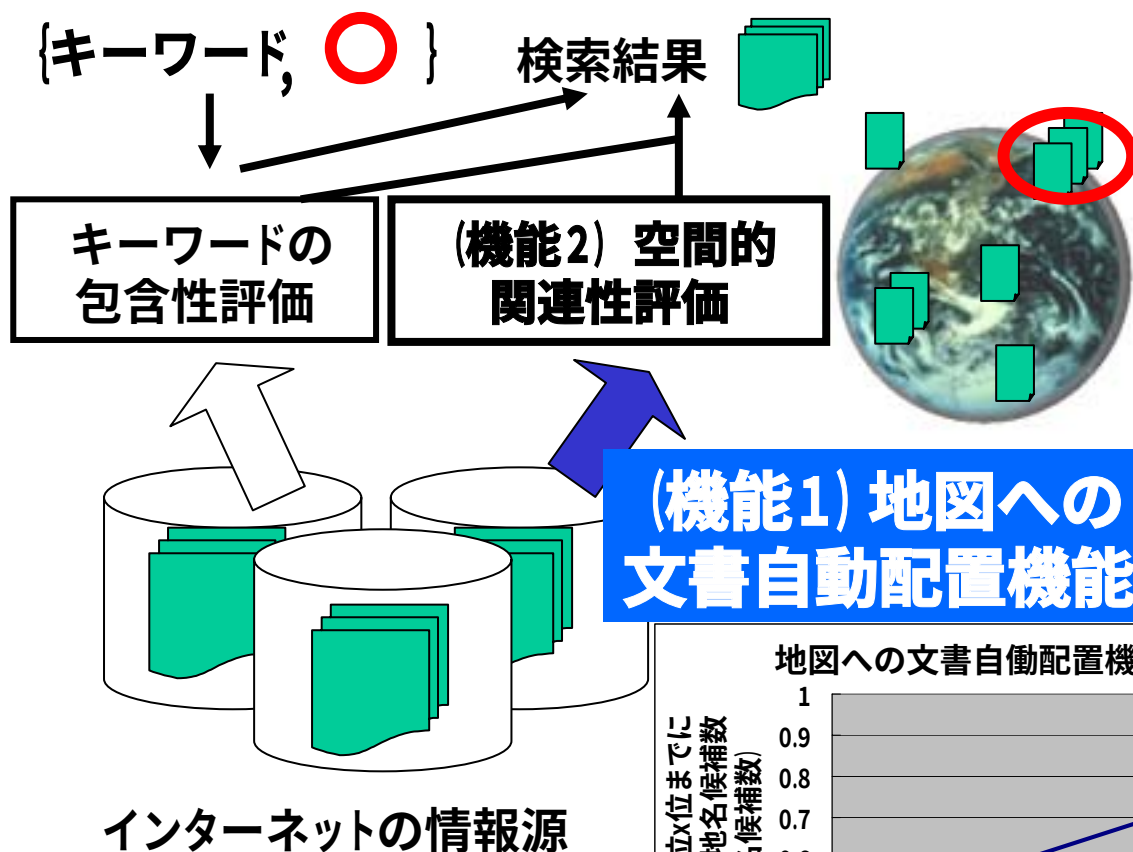
平成15年度未踏ソフトウェア創造事業

開発者：細川宜秀

**地図への文書自動配置機能を有する
空間的文書検索システムの開発**

成果概要

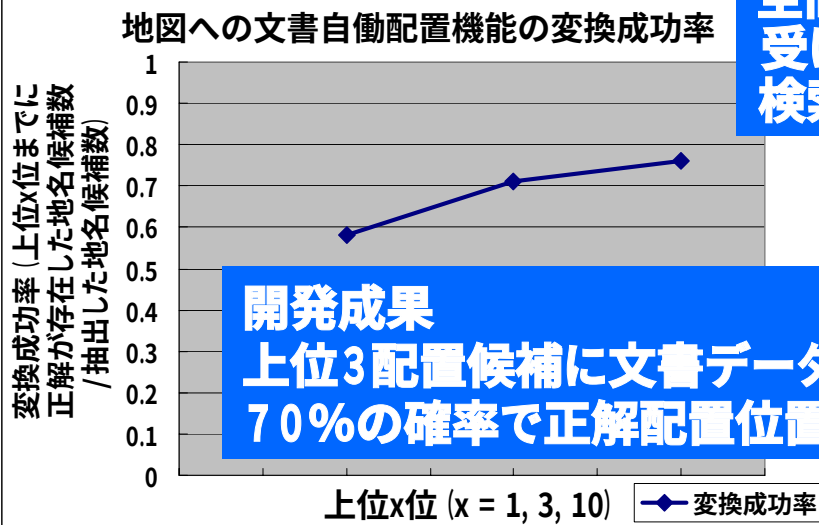
地図への文書自動配置機能を有する 空間的文書検索システム



現在の文書検索システム:
検索したい文書の内容
を言葉で説明できないと
検索できない。

言葉で表現困難だが
有効な検索条件を
受け付けられる文書
検索システムの実現

空間的な検索条件を
受け付けられる文書
検索システムの実現



開発成果

上位3配置候補に文書データを配置する場合、
70%の確率で正解配置位置に配置可能

技術の位置づけ

位置情報サービスの必須機能

位置情報サービスの柱

ハードウェア:

- (1) 無線ネットワーク機能
- (2) 位置センシング機能
- (3) モバイル端末 (小型化技術)

ソフトウェア:

- (4) 地図へのコンテンツ自動配置機能
- (5) 位置に応じたコンテンツ配信制御機能
- (6) 空間的関係に基づいたコンテンツ検索機能

(4) 地図へのコンテンツ自動配置機能の技術開発の遅れが、(5)、(6)の開発を阻害している

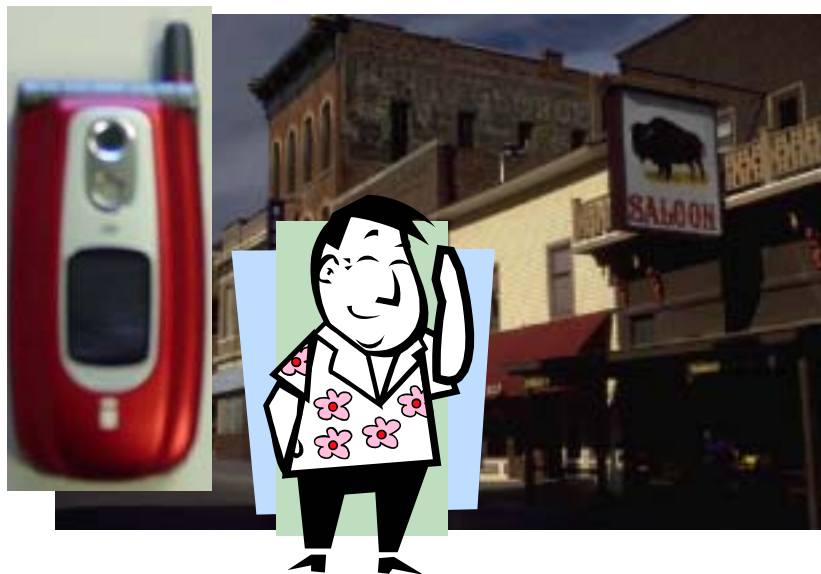
- 本開発で実現した地図への文書自動配置機能は、(4)の実現形態の1つである。



応用

モバイル環境を対象とした 情報の実時間自動配信

- 口コミ情報配信
- 課外授業 (例えばわが町の歴史探求)
- 観光案内
- チラシ配布
など



モバイル・ユーザ



口コミ情報源



口コミ情報：
A町の和食
レストランは、
メニューMが
お勧めです。

地図への文書
自動配置機能



Xレストラン：
A町B丁目C番地
「メニューMがお勧め」